

とらやまの森

大怪我をして保護された ヤマネコたちのその後…



「シマト」は怪我のため3本足（前2本、後1本）となりましたが、この10月に野生に戻りました。現在は、野生で実際にどれだけ生活できるかの追跡調査中です。一方、野生生物保護センターで治療していた「トラ吉」と「Beny Sumo」の2頭は、それぞれ九十九島と東山の動植物園へと旅立つことになり、今後は繁殖に関わることとなります。「トラ吉」は昨年度に野生に一旦戻してみましたが、交通事故の後遺症のため最終的な野生復帰の願いはありませんでした。人生最後の野生での数ヵ月をどのように感じたのでしょうか。「Beny Sumo」も3本足（前1本、後2本）です。「シマト」と足の本数は同じですが、残念ながら野生復帰はできませんでした。再び野生に戻りたかったのでしょうか。

これら3頭は大怪我をして同時期に野生生物保護センターで生活していました。我々は救護したヤマネコそれぞれに、最終的にどうしてあげるべきか、数が少ないヤマネコ全体の未来のためにどうすべきかを考え方向性を決めてきました。「シマト」のようなハンディキャップのあるヤマネコを野生に戻すことに関しては様々なご意見があると思われませんが、我々はシマトだったら野生で生きられると判断しました。現在彼は対馬で野生のツシマヤマネコとして暮らしています。今後とも見守ってあげてください。



▲シマト♂



▲トラ吉♂



▲Beny Sumo♂

万が一ツシマヤマネコを車で轢いてしまっても、故意でなければ罪に問われることはありません。轢かれてすぐのツシマヤマネコはまだ生きている場合があり、迅速な通報がツシマヤマネコの命を助けることに繋がります。もしもツシマヤマネコを轢いてしまった場合や、うずくまっているツシマヤマネコを見かけたら、下記の電話番号までご連絡のほど宜しくお願いいたします。

24時間ヤマネコ通報対応中



ヤマネコは
耳の後ろに
白い斑があります。

対馬野生生物保護センター（ヤマネコセンター）0920-84-5577

開館時間と休館日のお知らせ

【開館時間】10:00～16:30（入館は16:00まで）

【休館日】月曜日（月曜日が祝日および振替休日の場合は開館、翌日火曜日に休館）





やまねこ News



ばいばい!! 「つむぎ」・「りん」



◀つむぎ♀
2022.4に福岡市動植物園で誕生。2022.12にステーションへやってきた。人工哺育で育った一人っ子。



◀りん♀
2022.7に福岡市動植物園で誕生。2023.1にステーションへやってきた。姉妹のNo.100千ヨコと育った。

2023年1月からツシマヤマネコ野生順化ステーションで野生順化訓練を行っていた「No. 97 つむぎ」・「No. 99りん」ですが、一連の訓練を終えたので、将来の繁殖に向けて「つむぎ」は九十九島動植物園に、「りん」は東山動植物園に移動しました。2頭とも野生順化ケージで野生のネズミ類や鳥類を捕獲することが出来るようになりました。動物園でも上手く繁殖してくれることを祈っています。

ようこそ!! 「ひかり」・「したる」



◀ひかり♂
2023.7に上県町榎滝で交通事故に遭い保護。当時まだ子猫だった。2023.10にステーションへやってきた。



◀したる♂
2023.4に東山動植物園で誕生。2024.1～2にステーションへやってくる予定。名前の由来はもちろん、上県町志多留から。

2023年7月に上県町榎滝で幼獣の状態から交通事故から救護された「Mk-109ひかり」が、野生生物保護センターでの治療とリハビリを終えたため、同年10月にステーションに移動しました。「ひかり」は事故の影響で母親と離れ離れになってしまったため、ステーションで野生順化訓練を受けてから野生下に放獣する予定です。

2023年4月に東山動植物園で生まれた「No. 103したる」が、将来のステーションでの繁殖に向けて、2024年1～2月に移動する予定です。「したる」は野生順化ケージでの飼育を行わないため一連の野生順化訓練を行う予定はありませんが、管理区域での飼育を通して様々な知見を集められればと考えています。

新職員のご挨拶

はじめまして。7月にツシマヤマネコ野生順化ステーションに着任いたしました谷口です。前任地は那覇の事務所でした。ヤマネコをはじめ対馬の自然環境の保全に少しでも貢献できればと思いますので、よろしくお願ひします。

対馬自然保護官事務所 厳原事務室 自然保護官
谷口 晃基 (たにくち こうき)



保全活動の様子や、ココでしか見られないヤマネコの姿などを掲載していますので、ぜひチェックしてみてください!

Instagram、やっています 🐾



TWCC2021

ツシマヤマネコ交通安全ポスター展入賞作品が決定しました！

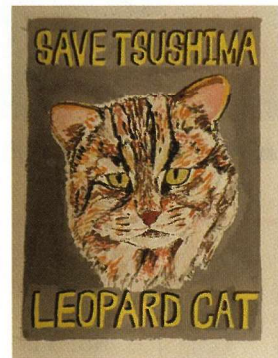
第12回目となるツシマヤマネコ交通安全ポスター展の入賞作品が決定しました！今年度は島内のみなさまから、小中学生の部・一般の部合わせて計190点もの作品が集まりました。たくさんのご応募、本当にありがとうございます。

また、11月3日（金）に開催した「とらやま祭りwithわんにゃんフェスティバル」内にて今回入選されたみなさまの表彰式を行いました。受賞されたみなさま、おめでとうございます！ポスター展は2月12日（月）まで野生生物保護センターにて展示していますので、ぜひご覧下さい！

最優秀賞作品



小・中学生の部
にしやま ふみ
西山 文さん



一般の部
たちばんだりゅういち
橘田 竜一さん

ポスター展展示日程 対馬野生生物保護センター
2024年1月4日（木）～2月12日（月）

ステーションだより ～ステーションのそばイベント～

ステーションでは、ヤマネコが野生順化訓練をするケージにそばや麦を育てて、実を食べるネズミ等の小動物を増やし、ヤマネコのエサ動物を増やすこともしています。

普段は非公開の施設ですが、今年からヤマネコ応援団と共催で一般の方々を募り、そばまき（夏）、そばの花見（初秋）、そば刈り（秋）、そばの脱穀（冬）のイベントを開催しています。ツシマヤマネコに詳しくなり、気軽な職場体験ができると好評です。来年もイベントを開催する予定ですので、興味を持たれた方は是非参加してくださいね。



▲ステーションのツシマヤマネコ講義もあります。



▲そばまきの様子。芽が出ますように～とみんなが播きました。



▶そば刈りでは、みんなよく働いて、なんとか刈り終わりました。

いきものクイズ



対馬野生生物保護センターで飼育していたツシマヤマネコを見ることができた順にならべてください
①つつじ ②福馬 ③かなた ④つしまる） 答えはウラ（4ページ）をみてね！



対馬野生生物保護センター来館者30万人達成！！



▲30万人目の来館者様。来てくれてありがとう！

野生生物保護センターは令和5年8月31日に来館者30万人を達成しました。平成9年に開館以来、島内外の多くの方々にお越しいただき、皆様の温かい支援によりここまで来られましたことに感謝申し上げます。これからもツシマヤマネコをはじめとする対馬の自然の素晴らしさ、大切さを伝える展示・体験を提供していきます。



今回の対馬のあの人この人は…

No. 31 一般社団法人対馬CAPPА 理事

すえなが みちなお
末永 通尚 さん

どのような活動をされていますか？

海流や風などの影響で様々なごみが漂着している対馬市の海岸をきれいにするための活動を行っています。主な活動としては3つです。

1つは海岸清掃ボランティア活動の運営です。対馬の美しい海岸を取り戻すために清掃ボランティア活動を行っており、ボランティアの参加募集から実施、成果情報の発信にかけて行っています。

2つ目は普及啓発活動です。島内の学校を対象に出前授業をったり、企業や大学関係者などを対象とした「環境スタディ」というプログラムを展開しています。環境スタディは海岸清掃とシーカヤックを利用したプログラムで、大量の漂着ごみという負の面と、海で遊ぶことの楽しさといった正の面を同時に感じてもらうのがねらいです。

3つ目は継続的に行っている海岸のモニタリング調査です。対馬市内6カ所の海岸で漂着ごみの調査をし、ごみの量やごみの出所を記録しています。



活動をはじめたきっかけはなんですか？

元々、有志によって立ち上げられた任意団体「美しい対馬の海ネットワーク」の活動で、海岸清掃を行っていましたが、どれだけごみを撤去してもごみが流れてくるという状況にありました。そこで、海岸清掃だけでは根本的な解決にはならないという考えに至り、海岸漂着物対策のさらなる発展を目的に、一般社団法人対馬CAPPАを設立しました。

今後の取り組みの目標などはありますか？

対馬は海流などの影響から他国由来のごみも多く漂着しています。この現状を踏まえ、環境スタディなどの普及啓発活動をよりグローバルに発展させていき、漂着ごみを通じて他国との交流を増やすことで、対馬の漂着ごみの現状や世界的な課題でもある海洋汚染に関心を持ってもらい、漂着ごみ問題の改善に貢献していきたいです。

一般社団法人対馬CAPPА 対馬市美津島町箕形29 TEL:070-4281-6588 mail:info@cappa.or.jp

今日の一枚 by 南

秋のある日、林道でヤマネコ調査をしていると、立派な「ヤマナシ」の実に遭遇。地面には既に動物達に食べられたであろう実の残骸が。なんと素晴らしい実りの秋、きっと美味しいに違いない。いざ口に含むと、砂利を噛んだような粒感の強さ、味は渋く酸っぱく、それでいて非常にジューシーなため、噛むたびにだくだくと果汁が溢れ口内をヤマナシが支配していきます。対馬では「コッポウナシ」(コッポウ=頑固)と呼ばれるそう。お試しあれ。



いきものクイズの答え

④つしまる→①つつじ→②福馬→③かなた

初代:つしまる (2003.12~2007.1) 2代目:つつじ (2007.3~2008.6) 3代目:福馬 (2008.6~2018.12) 4代目:かなた (2019.11~)